

ESPÉRANZA トーク&コンサート

「出会いに感謝～難病を乗り越えて～」



11月30日、鏡野町中央公民館で開催いたしましたESPÉRANZA（えすぺらんざ）の講演会には、町内外から約80人が集まり、フルート&ベースギターによる演奏とトークを聴き、人権についての理解を深めました。

奥田良子さんは大学生の時にクロン病を発症し、大学卒業後、大阪の管弦楽団に入りましたが病気が原因で解雇されました。クロン病とは大腸や小腸に慢性的な炎症を起こし、腸閉塞や大量出血などで手術が必要になることもある原因不明の病気です。「病気をさなければ幸せになれたのに」と寝たり起きたりするだけの日々が過ぎ、なにもかもをあきらめていましたが、夫である奥田勝彦さんとの出会いにより救われ、再び夢と希望をもち現在のように全国各地で演奏活動をされるようになったそうです。

講演の最後に「病気をもっていても夢を追いかけることはできる。今はこのような場で皆さんに演奏を聴いてもらえることが幸せ。」と締めくくりました。

アンケートにたくさんのご感想をいただきましたので、その一部を紹介します。

10歳代 女性

・一曲一曲に想いが込められていて、感動しました。

30歳代 女性

・人を本当に大切に思うことの深さを感じさせられました。

50歳代 女性

・心がとても豊かになりました。命の大切さ、人とのかわり、これから自分のできる事を大切にしていきたいと思いました。素敵な時間をありがとうございました。

50歳代 女性

・心に響く演奏と、体験を元に話される言葉の数々に感動しました。演奏を聴きながら自分の心を見直す機会をいただきました。ありがとうございました。

50歳代 男性

・とてもすばらしい心にしみるコンサートでした。

60歳代 女性

・フルートやオカリナのほっこりする音色を聴きながら、心洗われたような気がしました。人生には必ず様々な障害があるけど希望をもって生きていく事が大事だと思いました。

70歳代 男性

・難病に負けず今日の幸せを感じていることに感動しました。

80歳代 男性

・「想いやり」この言葉がもつ意味の内容にマッチした音楽で心に沁みわたった。演奏を聴いていると久しぶりに胸が熱くなるのを感じた。